

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 田代 宗
論文審査委員	主査 都留寛治 印
	副査 都築 尊 印
	副査 城戸寛史 印
論文題目	Bond strength of artificial teeth to thermoplastic denture base resin for injection molding
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>学位申請者は本論文にて、ノンメタルクラスデンチャー用の射出成型型熱可塑性樹脂に対する人工歯の結合強さに及ぼす人工歯基底面処理の影響を検討している。射出成型型熱可塑性樹脂としては製品に使用されるポリアミド、ポリエステル、ポリカーボネートの3種類を実験群とし、従来型義歯に用いられるアクリル樹脂を対照群としている。2種類の人工歯(硬質レジン歯、レジン歯)に対して4種類の基底面処理(無処理、酢酸エチル処理、T字型維持孔(<math>\phi 1.6\text{mm}</math>)、T字型維持孔(<math>\phi 2.1\text{mm}</math>))を施しており、前述の樹脂と組み合わせた実験試料により人工歯と樹脂の結合強さを評価している。その結果、アクリル樹脂には有効であった酢酸エチルによる人工歯の基底面処理は、いずれの射出成型型熱可塑性樹脂に対しても効果を発揮せず、<math>\phi 2.1\text{mm}</math>のT字型維持孔が最も有効と結論づけている。</p> <p>公開予備審査会では研究背景、目的、方法、結果および考察に関する明確な説明がなされ、適切な質疑応答がなされた。</p> <p>以上より、本論文はノンメタルクラスデンチャーの人工歯脱離の問題を解決する、歯科臨床に資する研究成果が報告されているものであり、学位論文に値すると判断した。</p>	